

✧ 海外ニュース ✧

アメリカ 2021年9月28日 For Construction Pros

■ 道路の強度を向上させる土壌技術

Preservation Techniques Improve the Strength of Roadways

Lithified Technologies社は、自然界に存在する化学物質、鉱物、熱、水分、圧力が組み合わさって拡散浸透することで複雑なアルミノケイ酸塩を形成し、数千年かけて徐々に土を岩石に変えていく自然のプロセスである、石化作用を模倣したLithTec™という技術を開発した。一般道路や高速道路の道路インフラを現在よりもはるかに長持ちさせることができる。また、アスファルトの厚さを最大67%薄くできる可能性がある。

フランス 2021年10月1日 LeFigaro

■ Air Liquide, Total Energies およびヴァンシ、脱炭素水素エネルギーインフラに注力するファンドを設立

Air Liquide, Total Energies, VINCI lancent un fonds dédié aux infrastructures d'hydrogène décarboné

Air LiquideとTotal Energiesとヴァンシは、他の世界的大手企業との協力のもと、脱炭素、水素インフラの開発を専門とする世界最大のファンドを設立する。初期投資額は既に合計目標額15億ユーロ中の8億ユーロに達している。この取組みは、大規模な戦略的プロジェクトに投資し、産業界および金融界の重要組織の協調からの恩恵を受けながら、水素エコシステムの成長を加速させることを目的としている。

アメリカ 2021年10月4日 New Civil Engineer

■ 高速道路のメンテナンス時期を予測するフロリダ州の監視ツール

Monitoring tool predicts Florida motorway maintenance

州間高速道路595号線で、新たな資産管理技術の実証実験プロジェクトが行われている。

Probitは、Aimソフトウェアが高速道路資産の状態を従来に比べより詳細かつ迅速に評価・予測できることを示した。Aim 4.0は、送られてきた高速道路を構成する資材に関するデータを処理し、修理または保守作業が必要になる時期と費用を予測することができる。

アメリカ（イスラエル） 2021年10月6日 Engadget

■ Googleが大気汚染緩和を目指して、自社のAI技術を交差点の信号に適用

Google turns its AI on traffic lights to reduce pollution

Googleのブランド氏によると、AI研究グループの1つは、都市の交差点のデータを精確に計算して収集し、非効率的な交差点を最適化するためのモデルを訓練することに成功したという。同社によると、イスラエル国道会社と協力し4カ所で実験を行ったところ、これまでに燃料消費と交差点の遅延時間が10～20%短縮されたという。

スペイン 2021年10月7日 Abertis

■ アベルティスとチリ政府がサンティアゴ市の最大の投資プロジェクトで合意、中央高速道路のコンセッション期間延長へ

Abertis acuerda con el Gobierno de Chile el mayor proyecto de inversión en Santiago que extenderá la concesión de la Autopista Central

このプロジェクトは、サンティアゴ・デ・チレ首都圏の渋滞を解消するために、それぞれ1.5kmの一方通行のトンネルを2本建設するもので、交通の流れを改善することで利用者には燃料と移動時間の節約になる。さらに、このプロジェクトにより、増加する交通量に伴う汚染を軽減できるとしている。工事は2022年前半に開始され、工期は40カ月を予定している。22ヘクタールの新しいレジャー用公共スペースを含む工事で、そのうち6ヘクタール以上が緑地となる予定だ。

アメリカ 2021年10月7日 Observer-Dispatch

■ NUAIR と高速道路管理局、橋梁の点検にドローンを用いる実験プログラムを発表

NUAIR, Thruway Authority announce pilot program to use drones for bridge inspections

10月4日、ニューヨークの高速道路管理局は、高速道路の橋梁の点検を支援するためにドローンを利用する実験プログラムにNUAIRが参加することを発表した。「橋梁、高架道路、システム全体のインフラ点検にドローン技術を用いることは、大変革をもたらすだろう」と、高速道路管理局のドリスコル事務局長は声明で述べた。

スペイン 2021年10月8日 El Economista オンライン版

■ 政府、高速道路の利用に約80ユーロの年額料金を予定

El Gobierno planea una tarifa anual de unos 80 euros por usar las autopistas

政府は、ドライバーがスペインの大容量道路を利用するための制度として、いわゆるヴィニエットを採用する予定だ。これは、道路通行の権利を一定期間（年、月、週、日の単位で）与える料金規定である。この措置は、ETCを用いた重量課金制が導入されるまでのつなぎの措置として、2023年から少なくとも2年間の期間限定で制定される見込みだ。

アメリカ 2021年10月12日 マサチューセッツ工科大学（MIT）

■ 交通事故の予測に深層学習を活用

Deep learning helps predict traffic crashes before they happen

交通事故の発生に固有の不確実性を先読みするために、MITのコンピュータ科学人工知能研究所（CSAIL）とカタル人工知能センターの科学者が、超高解像度の衝突リスクマップを予測する深層学習モデルを開発した。過去の衝突データ、道路地図、衛星画像、GPSの形跡の組み合わせを用いたこのマップは、リスクの高い領域を特定し、衝突を予測するために、一定期間における衝突の予想数を示す。

アメリカ 2021年10月12日 StateScoop

■ カリフォルニアの都市での交通技術実験

Traffic-tech test bed coming to California city

フリーモント市の当局は、新しいビデオとレーダーシステムによって、道路を通過する個々の歩行者、自転車、車両の数に関するデータを自動的に収集すると同時に、衝突事故回避のために信号を数秒間瞬時に延長または遮断する機能を獲得できると述べた。当局は、このプロジェクトは車道の安全性と「交差点での機動性」を高め、車両の排出量を削減することで大気の質を改善すると述べた。

アメリカ（スイス） 2021年10月12日 Streetsblog

■ 実質的に車の運転を減らす道路利用料金構想

A Road Pricing Scheme That Actually Cuts Driving

研究チームは、スイスの居住者3,700人に携帯電話へ移動追跡アプリをダウンロードしてもらい、彼らの選択が国民にどれだけの費用をかけたかを金額で定量化したレポートを送った。排出量などの一般的に課税されるものだけでなく、騒音と温室効果ガス、安全上のリスクと健康への影響、公共交通機関の座席の不足、道路渋滞、および輸送インフラの運用・保守コストも含まれる。

アメリカ 2021年10月13日 ペンシルベニア州交通省

■ 再生プラスチックで道路を舗装するペンシルベニア州の共同実験

Wolf Administration Highlights Collaborative Pilot to Pave Roadway with Recycled Plastic

このプロジェクトは、環境保護省により資金提供された交通省の戦略的リサイクルプログラムの枠内で実施さ

れるもので、アスファルトと再生プラスチックの混合物で表面が覆われた 400m の道路 2 本が含まれている。この材料は、プラスチック材料を周囲の環境に浸出させることなく、車道の表面を強化することを目的として使われている。

アメリカ 2021 年 10 月 13 日 BikePortland

■ ポートランド市議会が全員一致で新しい交通料金計画を支持

Portland leaders unanimous in support of plan for new transportation fees

高速道路の通行料に関して、市は、2021 年 3 月 9 日付けの州交通省の通行料プログラム（収入を高速道路以外の用途に投資することを奨励）に関するタスクフォース文書に示された提言と結果を支持すべきである。

他に検討に値する長期政策として、タスクフォースは、都心部の交通遮断（有料）ゾーン、地方道路のユーザー課金、動的な駐車料金設定の 3 つを推奨している。

アメリカ 2021 年 10 月 13 日 Pittsburgh Post-Gazette

■ 自律運転トラックのスタートアップ Locomotion がエンジン製造企業 Cummins と提携

Autonomous trucking startup Locomotion to collaborate with Indiana company

Locomotion はソフトウェアを国際的なエンジン製造企業 Cummins の動力システムと統合する。これにより、トラック 1 台あたりの燃料消費量が 10% 削減されると見積もられている。なお、同社は、高速道路での走行に隊列走行システムを採用しており、自律運転トラックは問題発生時に人間が介入するように設計されていない。

イタリア 2021 年 10 月 15 日 アトランティア

■ アトランティア、保有するイタリア・アウトストラデー社（ASPI）の全株式を売却：ASPI と交通および持続可能なモビリティ省の間の和解契約に署名

Atlantia, cessione dell'intera partecipazione detenuta in ASPI : sottoscritto l'atto transattivo tra ASPI ed il MIMS

ASPI によって提供される補償支払いのための総額 34 億ユーロが確認された。和解契約は、高速道路運営者、政府当局、リグーリア地方当局、ジェノバ市議会、同市港湾当局の間の協議の結果が考慮されており、リグーリア州の地域社会にとって利益となる種々の取組みに 14 億ユーロ超が割り当てられている。

- ・ジェノバ港とヴァル・フォンタナブオーナの道路網の地下にトンネルを建設
- ・ジェノバ地域でのモビリティ、物流、デジタル関連プロジェクトの提供
- ・ジェノバ港にとって利益となる種々の取組み
- ・ビザーニョ道路橋の下にある物件の居住者に支払われる補償

スペイン 2021 年 10 月 18 日 運輸・移動・都市政策省

■ スペインとポルトガル、2 国間の道路接続の現状を分析

España y Portugal analizan la situación actual de las conexiones por carretera entre ambos países

ハビエル・エレロ道路局長を代表とする運輸・移動・都市政策省（Mitma）と、アントニオ・ラランジョ社長が率いる公営企業のポルトガル・インフラストラクチャー社の代表団は、リスボンで開催されたスペイン・ポルトガル合同橋梁技術委員会の年次総会で、両国間の道路接続の現状を分析した。

デジタル化と持続可能性に関して、両国は、電気自動車の充電ポイントの開発を共同で推進することの重要性、および最高水準の道路安全で国民へのサービスの質を向上させることを目的とした、道路へのインフラ監視要素の組み込みの重要性について合意した。

ギリシャ 2021年10月18日 Greek Reporter

■ ギリシャがアテネ中心部の混雑課金導入を検討

Greece Mulls Tolls for Athens Center to Ease Traffic Congestion

インフラ・交通大臣のカラマンリス氏は、渋滞緩和のためにアテネ中心部で車両に通行料を課すことを検討していると明らかにした。アテネ中心部の「小さなリング」への進入を許可する車両を半減させることに加え、リングの境界の段階的な拡大を行っていく。なお、現在アテネには通行料課金システムはないが、市内中心部への車両の進入規制がある。

スペイン 2021年10月19日 CincoDías オンライン版

■ 政府、交通部門との協議に向け、自動車専用道路の通行料に関する最終案をまとめる

El Gobierno ultima un plan de peajes en autovías para debatirlo con el sector del transporte

運輸省は、スペインの交通容量が大きな道路にどのような従量課金モデルを導入するかの分析を進めている。これは、ラケル・サンチェス大臣が記者会見で述べたもので、数カ月以内には検討案を提示するとしている。その後、「社会的、経済的、地域的な関係者や道路交通関係者との議論を経て」将来の通行料の形を最終的に決定することになると見込んでいる。

フランス 2021年10月20日 LeFigaro

■ ヴァンシ、業績予想を維持しCAC 40のトップに立つ

Vinci en tête du CAC 40 après le maintien de ses perspectives

ヴァンシは、予測どおりの業績となる四半期決算報告を終えた翌日の10月20日、株価91.77ユーロ（1.19%増）を記録してCAC 40（ユーロネクスト・パリ上場の上位40社）の首位に立った。コンセッション事業の総売上高は前年比14.1%増の51億5,300万ユーロ（このうちヴァンシ高速道路会社が41億5,400万ユーロで、17.8%増、9月30日現在）であった。しかし、これは2019年との比較においては依然として20.6%低い数値となっている。

フランス 2021年10月22日 Le Figaro

■ エファージュ：APRRの四半期の総売上高と交通量が増加

Eiffage : chiffre d'affaires et trafic trimestriels en hausse pour APRR

エファージュグループの高速道路管理・運営子会社であるAPRRは、2021年第3四半期の総売上高が7億9,730万ユーロとなったことを発表した。前年同期比で10.3%増、2019年第3四半期との比較で8.5%増であった。またAPRRが管理する道路網における交通量は、総走行距離76億9,700万kmを記録し、前年同期比で9.2%増、2年間で6.3%増となった。

イタリア 2021年10月22日 Il Sole 24 ore

■ 高速道路A22号線（通称「アウトブレンネロ」）がますますインテリジェントに：乗用車やトラックと会話

Autobrennero sempre più «intelligente»: parla con vetture e Tir

A22号線で、先頭車両のみが運転操縦し動く大型車両の隊列走行の実験が行われた。

これは、過去4年間にアウトストラダ・デル・ブレンネロ社がA22号線で、『C-Roads Italy』の枠内で、他の実施機関と共同で展開した多様なプロジェクトにおいて達成された成果である。なお、『C-Roads Italy』は、EU加盟国全体で規格が統一された、インテリジェントで協調的な交通システムの確立を目指す欧州のプログラムの一環である。